

「夏休み子ども環境体験フェア」を開催しました

8月21日(金)に、環境衛生センター(寿3)で、「夏休み子ども環境体験フェア」を開催しました。

長岡市の環境に関する取組を知ってもらうことや、楽しみながら環境保全への意識を持ってもらうことなどがねらいです。

内容は「ワクワク施設探検」と「ペットボトルソーラーカー作り」の2コースを設け、市内の小学生32名とその保護者の方々から参加いただきました。



▲ごみ焼却施設の見学の様子

ワクワク施設探検コース体験者の声



▲ごみクレーンの操作体験

施設のいろいろな場所を見たり、ごみクレーンの操作体験など普段体験できないことができてよかったです。

親子でごみの「一生」を知れて、とても勉強になり、思い出になりました。

“ごみの分別の大切さ”が実感できたので、より一層家庭での分別に親子で心がけようと思いました。

ペットボトルソーラーカー作り体験者の声



▲ペットボトルソーラーカーの試走

リサイクル品を使ってできる工作でよかったです。

親子で一つの物を作るという貴重な場を提供いただき本当にありがとうございました。

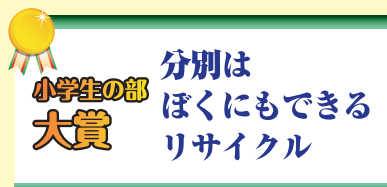
自然のエネルギーを生活に役立てる知識は、これからとても大切な考え方だと感じました。

また、このような子どもが楽しく学べる機会をつくってもらいたいです。

平成27年度 エコロジー標語の大賞作品(小学生の部)を紹介します

(※各入賞作品は市のホームページでご覧いただけます。トップページで「エコロジー標語」と検索してください。)

長岡市では、市民の皆さんから環境について考え、環境に配慮した取組を行っていただくきっかけとするために、「エコロジー標語コンクール」を実施しました。作品を募集したところ、小学生の部には80点の応募をいただきました。



ひろかわ あきよし
福戸小学校4年 広川 諒和さん



---広川さんにお聞きしました---

Q. 標語を考えたきっかけは?

社会科見学で寿と鳥越のグリーンセンターに行ったときにごみを分別すると、燃やす必要がなくなったり、資源になったりすることを聞き、ごみの分別は大切なことだと思えました。

Q. 環境にやさしい取り組みをしていますか?

ごみを減らさないと長岡の埋立地がいっぱいになってしまいます。社会科のごみの勉強のまとめで3Rのことを知りました。ごみの分別のルールを守って行い、リサイクルや他の3Rもやってみたいです。例えば、着られなくなった服をおさがりしたり、売ったりしてリユースすることをやってみたいです。

施設見学のご案内

ごみの分別・リサイクル・中間処理・最終処分についてご説明します。月曜日を除く平日で、所要時間は90分程度です。個人でも団体でも見学できます。申し込みは、下記へどうぞ。

寿クリーンセンターの見学

- 見学内容
- ごみ焼却施設
 - リサイクルプラザ
 - 生ごみバイオガス発電センター

申込み: ☎ 24-2838(環境施設課)

鳥越グリーンセンターの見学

- 見学内容
- ごみ焼却施設
 - 粗大ごみ処理施設
 - 最終処分場

申込み: ☎ 47-1100(鳥越グリーンセンター)



▲生ごみバイオガス発電センターの見学の様子